

交通安全地蔵尊 周辺で除排雪

宮坂建設工業

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広）は4日、帯広市大正町にある新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊周辺で除排雪作業を実施した。写真。

同社では、2004年



から毎年降雪後に除排雪作業の地域貢献活動を実施。帯広市内で1月末に20センチ超、前日の3日に10

センチ超の降雪を記録したことを受け、この冬1回目の除雪に取り組んだ。作業には役員や社員13

人が参加。タイヤショベル1台とダンプ3台を使って雪を処理した。

棟方聡常務は「除雪により交通安全地蔵尊が見えるほど見渡しが良くなった。お地蔵様を見て、行き交うドライバーが交通安全意識を高めてくれれば」と話した。

奉仕

◆宮坂建設工業（帯広市）が除排雪作業

4日、帯広市大正町の「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」周辺で行つ



た写真。

除排雪作業は、同社が帯広市尾自動車道の建設工事を担当したのを機に、2003年度から続けている。

今冬の作業は初めて。社員13人が参加し、重機やスコップなどで積もった雪を取り除いた。棟方聡常務は「付近を走る車から地蔵尊が見られるようにした。積雪に合わせて今後も活動したい」と話していた。

【帯広発】宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)は4日、帯広市内の道道新帯広空港線と市道の交差点にある「新西国三十三番観世音菩薩交通安全地蔵尊」

周辺の見通しすっきり

宮坂建設工業が除排雪作業

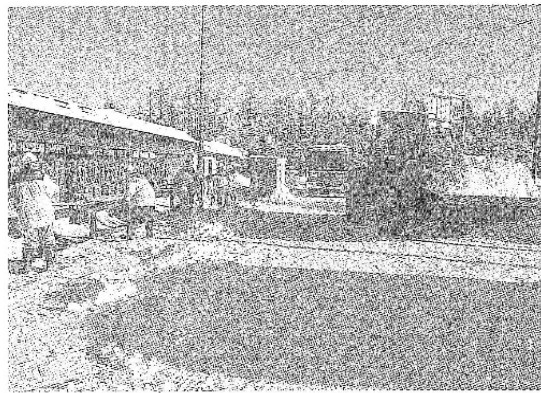
帯広市内で 安全確保に貢献

周辺で除排雪ボランティア活動を実施した。役員ら13人が早朝から作業を展開。交差点近くに高く積み

建設工事に携わったことを、辺にできた巨大な雪山が道きっかけに、2003年度路の死角となっていたが、から毎年行っている。タイヤシヨベルで雪を崩し、長年にわたる活動はことてダンプに積み込み、交差点の安全確保に貢献した。同社は、創始者の遺訓「世

の為人の為につくせ」の精神のもと、各地で地域貢献活動を展開。除排雪作業もその一つで、帯広尾道の雪が降ったこともあり、周

重機の進入が困難な地蔵尊や東屋の周辺はスコップで除いた。などを使って丁寧



棟方聡常務執行役員土木担当は「雪を取り除くことで道路の見通しを良くし、少しでも地域の交通安全に役立てば」と話していた。

地蔵尊周辺の雪をきれいに取り除いた